

| 五月 May |      |      |      |     |       |          |    |   |     |     |
|--------|------|------|------|-----|-------|----------|----|---|-----|-----|
| 1—2    | Ko   | 3 20 | 4 00 | 40  | 309.7 | Aqr, Peg | 5  | 0 | 0.7 | E3  |
| 6—7    | "    | 2 33 | 3 53 | 80  | 314.6 | Peg      | 13 | 2 | 0.7 | E10 |
| 7—8    | "    | 2 45 | 3 45 | 60  | 315.5 | Peg      | 11 | 1 | 0.7 | E8  |
| 8—9    | "    | 3 42 | 4 7  | 25  | 316.5 | Peg, Aql | 1  | 0 | 0.5 | E1  |
| 9—10   | "    | 3 33 | 4 3  | 30  | 317.5 | Cyg, Del | 4  | 2 | 0.5 | E2  |
| 1—2    | (OK) | 2 30 | 3 30 | 60  | 309.7 | Aqr      | 4  | 2 |     | E1? |
| 1—2    | (MH) | 2 30 | 3 30 | 60  | 309.7 | Aqr      | 5  | 1 |     | E2? |
| 2—3    | (EH) | 0 00 | 3 30 | 210 | 310.6 | Aql, Aqr | 10 | 1 |     | Z3? |

| 六月 June |      |       |       |    |     |     |    |   |  |  |
|---------|------|-------|-------|----|-----|-----|----|---|--|--|
| 22—23   | (AO) | 21 15 | 22 15 | 60 | 0.1 | UMi | 10 | 2 |  |  |

備考 Remarks: 時刻は日本中央標準時 Time in J. C. S. T. ( $\lambda = -135^\circ$ )

Q: 四分儀群 Quadrantids Z: 鷲群 Zeta-Aquilids

E: 水瓶の流 Eta-Aquarids

(1) 寺澤隆, 馬場昭夫, 中村陽一三人の共同観測

(2) 病室内よりの観測, 観測視野極めて狭し

以上の外, 星野實氏(東京)より  $\alpha = 218^\circ$   $\delta = +28^\circ$  附近に輻射点を有する流星が二月5日に出現したる由, 報告があつたが, 詳細は不明である。

〔戦線よりのたより〕

## インド人の“星”

面白い話をききました。印度人は、子供が生れますと、其の夜、天體を觀測して、太陽の位置、月の位置、金星の位置、木星の位置を記録します。その方法は、天球を、南北に三十度づゝ、十二等分します。そして、その基點は、四月十四日に太陽のある位置が起點になるのだそうです。そして、又、その十二區分された各區分には、九つの星のグループがあつて(このグループは、今の所分りません。30°を九等分したものではありません。星座のやうな星の群です。後で、よく尋ねます。)誕生の夜の各遊星を記録するのだそうです。そして、それをその人の星とし、其の後の遊星の配置によつて占星術が行はれるのです。全印度人はそれぞれの星を持つてゐるそうです。

## 試作プランisphereに添へて

天界 266 は、一ヶ月間待ちつゞけた甲斐有つて、非常に充實したものでしたが、中にも、先生の Planisphere のお話しは、すぐ實行してみました。一寸時間をかけましたら、今までの賣品より、ずつと良いものが出來ました。今までのものを見ると、オリオンは横にひしやげ、大犬に至つては、足をひろげて舌をたらししたやうな形でしたが、立體投影法によりますと、ちゃんとした形になり、満足してゐます。たゞ、これでは南天が極めて大きくなり、中緯度では非常に不便になりますので、月日と時刻とを合はせると、裏にはその時の反對側の天を示します。こうしますと、小さくても、そのわりに圖形は大きくなり、見易くなります。他に、プランisphere の見本を見たことが有りませんので、どんなのが有るか知りませんが、實際に作つて、割に便利ではないかと思ひます。特に、賣品は天空の形が變になるのが最大欠點と思ひます。それに、構造上、一寸無理が有つて、ガタついたり、又は動きにくくなつたりします。自作のものでは、北天は天頂よりやや南天まで切りぬいてあり、南天では、地平線をあらはしてなく（北35°用）、-50°までにして有ります。

1943—9—9

湯淺一經

## 天界正誤表

|         |                                          | 誤          | 正         |
|---------|------------------------------------------|------------|-----------|
| 第 265 號 | 第 224 頁, 下ヨリ 1 行目                        | 便利です。      | 便利です。     |
| 第 266 號 | 第 246 頁, 16 行目                           | 拂つて來て      | 持つて來て     |
|         | 第 248 頁, 9 行目                            | 目くばせした     | 目くばせて     |
|         | 第 249 頁, 12 行目                           | 西も,        | 而も,       |
|         | 第 277 頁, 6 行目                            | 急報 605 號點に | 急報 605 號に |
|         | 22 卷索引, 第 2 頁, 右 21 行目                   | マンドロメダ大    | アンドロメダ大   |
|         | 〃, 第 3 頁, 左 12 行目ノ「天王星 20, 21」ヲ「テ」ノ部ニ入レル |            |           |
|         | 〃, 第 4 頁, 右 18 行目                        | Rushell    | Russell   |
| 第 267 號 | 表紙第③頁, 3 行目                              | 星圖         | 星團        |
|         | 第 288 頁, 21 行目                           | 1913 年     | 1939 年    |
|         | 表紙第①頁, 及, 第 289 頁                        | 紀要 86      | 紀要 87     |

## ニウカムの正誤表及び書き改め

|      | 頁   | 行   | 誤                   | 正                   |
|------|-----|-----|---------------------|---------------------|
| 正誤   | (1) | 19  | $\frac{d^2u}{d^2x}$ | $\frac{d^2u}{dx^2}$ |
|      | (3) | 18  | 數の, 對數に             | 數の對數に,              |
| 書き改め | (1) | 22  | 2 乗は,               | 其の 2 乗は,            |
|      | (2) | 18  | R と置けば,             | R と書けば,             |
|      | (2) | 34  | 1000''              | 1000'' = 16'40''    |
|      | (3) | 3   | の差は                 | の違ひは                |
|      | (4) | 26) | 何れも, 上の行に續けて書く。     |                     |
|      | (4) | 29) |                     |                     |